

---

# J・カーサー

サダコレ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

J・カーサー

### 【Zコード】

Z3214E

### 【作者名】

サダコレ

### 【あらすじ】

カーサーは母親を…。だがそこには衝撃のラストが…。

(前書き)

久しぶりに書きます。というか久しぶりに書きます。

私はもうすぐ14歳になるジェイル・カーサー。胸毛がボーボーです。

いきなりなんですが、3年前に消えた母を探しています。警察やテレビ局にも協力してもらいましたが全然見つかりません。私は口臭がはかりません。

母が消えた原因をこの3年間、私は必死で考えたりもしました！でも何が原因なのか…

私はもう一週間お風呂に入らないません。  
お願いします！どんな情報でもいいんです！毎について…毎について…  
てなにか情報を…。

心經 卷之二

「えへ、とこりわけで、ジョンイルさんのお母さんの情報をお待ちしております。」

「お願いします! お願いします!」

## アナウンサー

ジエイル

(やだつ、なにのアナウンサー!わたしのこと、かくしてやりたい田で見てるー)

ちなみにジェイルは男です。

アナウンサー

「え～ここで新しい情報が入りました！」

ジェイル

「ほんとですかっ！？」

アナウンサー（うるさいし、臭いなこいつは）

アナウンサー

「え～、母親を発見！ジェイルくんの母親を発見したもよー！」

ジェイル

「チツ！」

スタッフ（え～～！？）

ジェイル

「もつと念入りに頭蓋骨をハンマーで……」

スタッフ一同

「え～～～つーー？」

ここにアナウンサーが席を立ち…

アナウンサー

「ジェイル、僕が君のパパだよ。」

ジェイル

「 もう あー もー もー 」

「 」の 小説 を 読んだ や 「 」の 書 、 、 、 フラスカ を 田 が ま か つ ！

(後書き)

いや～久しぶりに書きました

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3214e/>

---

J・カーサー

2010年12月30日05時32分発行